

ヤング調査

小・中・高校生のメディア接触、コミュニケーション・消費行動、生活意識など
40年以上にわたる実態調査を行ったデータベースです。

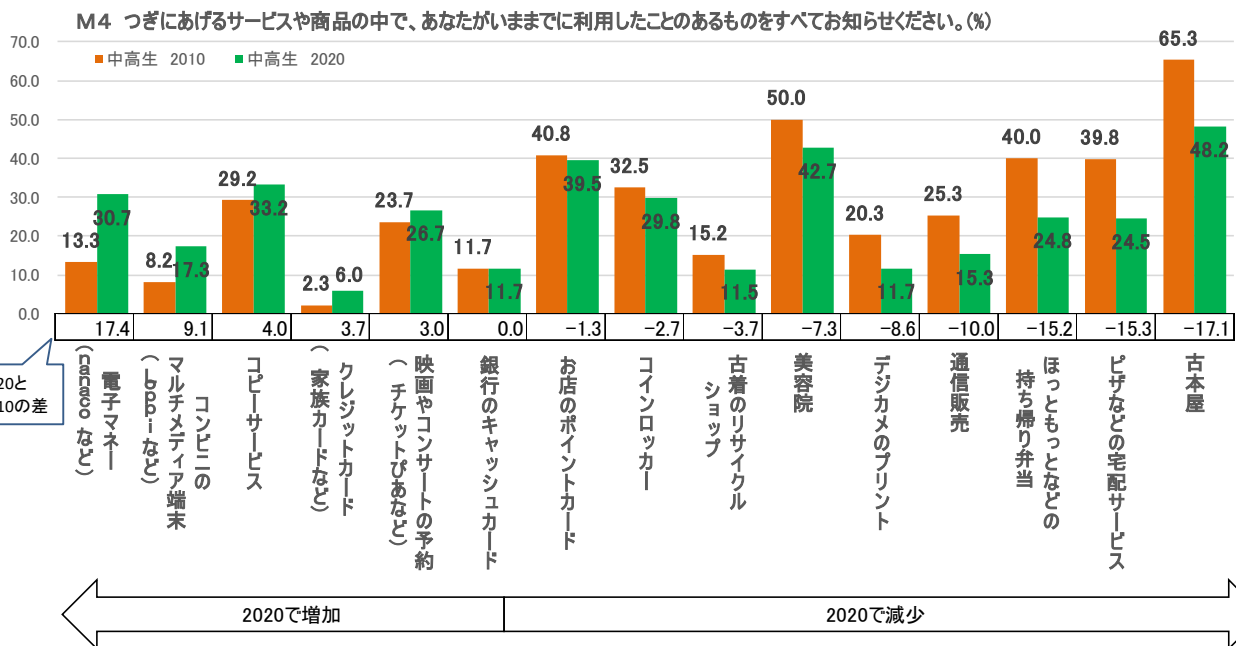
中高生が利用しているサービスや商品、この10年で変わったことは？

大学入学共通テストも始まるなど、受験シーズンもいよいよ本番。

コロナ対策をしながら、学生達も頑張っていることでしょう。

学業が本分・・・の学生ではありますが、勉強以外ではどのようなサービスや商品を利用しているのでしょうか。

今回は「商品・サービス利用経験」の2019年と2009年の調査結果をご紹介します。10年前と現在の中高生に違いはあるのでしょうか？



「電子マネー (nanacoなど)」が17.4ポイント増加。子ども達にまで電子決済は浸透し始めているようです。一方で17.1ポイント減少したのが「古本屋」。それでも48.2%と約半数を占めますが、これは本を読まなくなったのかそれとも電子書籍を利用しているのでしょうか？

また、「ほっともっとなどの持ち帰り弁当 (2010時はほかほか弁当)」「ピザなどの宅配サービス」も約15ポイントと大きく減少しています。あまり食べなくなったのか、違うものを食べるようになったのか、はたまた購入場所が変わったのでしょうか？

データ元 : JNNデータバンク ヤング調査2020 (2019年12月実施)・ヤング調査2010 (2009年12月実施)
調査対象 : 首都圏 (30km圏内) の一般世帯に居住する中学1,2年生、高校1,2年生 男女
600サンプル・中学生×300、高校生×300

JNNデータバンク ヤング調査概要 <https://www.jds.company/datebase03y/>

企画・実施: JNNデータバンク運営委員会

販売: JDS 株式会社ジェーディーエス TEL : (03)3358-1601 URL: <https://jds.company/inquiry/>